

本紙は、読んだあと大切に保管してください。

無線LANつなぎかたガイド

本紙では、モデムや無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末(WL54AG)を子機と呼びます。

接続する親機について

「らくらく無線スタート」マークが、親機本体に表示されている場合は、「らくらく無線スタート対応機種用」の「無線LANつなぎかたガイド」(別紙)を参照してください。マークがない場合は、本紙をご参照ください。

●マークがないWD700シリーズの場合
親機のファームウェアを更新して、暗号化設定を有効にすれば、「らくらく無線スタート」に対応することができます。詳しくは、親機のホームページ(http://www.aterm.jp/kddi/)から該当機種を選択後、ダウンロードコーナーを参照してください。

お問い合わせ先

本商品の機能や取り扱い方法などでご不明な点や初期不良、欠品、故障などがありましたら、親機側のマニュアルに記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。JavaScriptは米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または登録商標です。その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

箱の中身をチェックしよう

本商品が到着したら、すぐに添付品をご確認ください。不足しているものがありましたら、2週間以内に親機側のマニュアルに記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

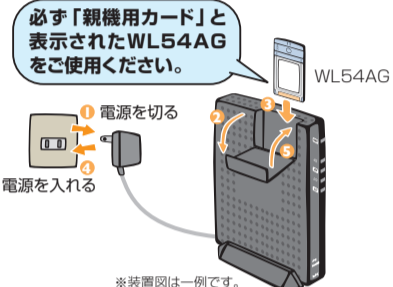
- WL54AG (2枚)
※「親機用カード」と表示されたほうを親機へ装着してご使用ください。
- ご使用になる前に(別冊)
- 無線LANつなぎかたガイド (2枚)
・「らくらく無線スタート」非対応機種用(本紙)
・「らくらく無線スタート」対応機種用(別紙)
- CD-ROM (ユーティリティ集)

本無線LANカードは、1枚を親機の拡張カードスロットに取り付けて無線機能を使用可能にし、もう1枚はパソコンに取り付けて子機として使用します。無線LANをご利用になるには、子機から親機への接続・設定を行う必要があります。本紙を参照して、無線LANの接続・設定を行ってください。

親機への取り付け手順

WL54AGを、WL54AGに対応した親機の拡張カードスロットに装着して、親機の無線LAN機能を使用可能にします。次の手順で親機へ取り付けてください。

- 親機の電源を切る
- 親機側面にある拡張カードスロットカバーを開ける
- 「親機用カード」と表示されたWL54AGを、拡張カードスロットに奥まで確実に入れる
- 親機の電源を入れる
※WL54AGのACTランプ、PWRランプが同時に点滅することを確認してください。
- 拡張カードスロットカバーを元に戻す



親機に装着するWL54AGは、無線LANを始める際の設定の直前に装着してください。親機にWL54AGを装着したまま無線セキュリティを行わず、そのままにしておくと、第三者から無線ネットワークに入り込まれる可能性があります。

Windows® 98SEでご利用いただく場合のご注意

Windows® 98SE搭載のパソコンでAterm WL54AG(無線LANカード)をご利用いただく場合は、お手数ですが、いったん有線(ETHERNETケーブルなど)でパソコンと親機を接続してインターネットへ接続していただき、下記URLのホームページに記載の内容にしたがってWMIのインストールを行ってください。

<http://www.aterm.jp/kddi/54ag/>

※ダウンロード・インストールはお客様の責任において実施をお願いいたします。ただし、パソコンメーカーによりWindows® 98SEが正式サポートされていないなど、お客様のパソコンの状況によっては本カードをご利用いただけない場合があります。

以下では、子機としてご利用になるWL54AG(無線LANカード)の無線LANの接続方法について説明します。

1 パソコン側での準備をしよう

操作方法など不明な場合は、各パソコンメーカーなどにお問い合わせください。

★本紙では、モデムや無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末(WL54AG)を子機と呼びます。

- CardBus(カードバス)準拠のPCカードスロット、LANポートの準備
WL54AG(無線LANカード)から無線で接続する場合は、CardBus(カードバス)準拠のPCカードスロットがパソコンに装備されていることを確認してください。また、ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、設定してください。
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない(起動したままでいる)と親機の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
- パソコンのネットワークの確認
設定する際は、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。確認のしかたについては親機に添付の「お使いになる前に」にある「トラブルシューティング」の「パソコンのネットワークを設定する」を参照してください。

- WWWブラウザの設定
WWWブラウザ(Internet Explorerなど)の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」にしておいてください。(下記参照)
また、JavaScriptを有効にする設定にしておいてください。
(親機に添付の「お使いになる前に」にある「トラブルシューティング」の「JavaScriptの設定を確認する」参照)
- WWWブラウザの設定・確認のしかた
WWWブラウザ(Internet Explorerなど)の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」にします。
右記はWindows Vista®でInternet Explorer 7.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の接続環境(ソフトウェアなど)によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- Internet Explorerを起動します。
- [ツール]の[インターネットオプション]を選択します。
- [接続]タブをクリックします。
- ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を選択します。
- [LANの設定]をクリックします。
- [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する]の[]を外します。
※プロバイダからプロキシの設定指示があった場合ははたがってください。
- [OK]をクリックします。

2 サテライトマネージャとWL54AG(無線LANカード)のドライバをインストールする

★本紙では、モデムや無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末(WL54AG)を子機と呼びます。

サテライトマネージャをインストールする

子機を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。以下は、Windows Vista®の画面を主な例に説明しています。

- Windows®を起動する
- 添付のCD-ROM(ユーティリティ集)をCD-ROMドライブにセットする
[自動再生]画面が表示された場合は、[rundll32.exeの実行]をクリックします。
- 表示された内容を確認し、ご利用のOSに適した「こちらをクリックしてください。」の文字をクリックする
- 表示されたセットアップアイコンをダブルクリックする
(Windows Vista®の場合の例)
[wr_vista_setup.exe]をダブルクリックします。
- ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]または[はい]をクリックする
ユーザーアカウント制御の画面は、タスクバーに点滅表示される場合があります。点滅をクリックして画面を開いてください。
- [Aterm WARPSTARユーティリティ]画面で[次へ]をクリックする
- 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする
- Windows Vista®/Windows® 7の場合は、この画面は表示されません。手順10にお進みください。
次の画面が表示された場合は、[無線カード/無線USBスティック]を選択し、[らくらく無線スタートで無線LAN設定を行う]のチェックを外して、[次へ]をクリックする
- 表示されたインストール先へインストールする場合は[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして変更してください。
- 次の画面が表示された場合は、[はい]をクリックする
インストールが開始されます。
- 次の画面が表示された場合は、[はい]をクリックする
- [READMEの表示]と[サテライトマネージャを常駐させる]にチェックが入っている([])ことを確認し、[完了]をクリックする
- READMEをよく読み、「README」画面を閉じる
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。
- 「このCD-ROMについて」HTMLファイルを閉じる

WL54AG(無線LANカード)のドライバをインストールする

以下は、Windows Vista®の画面を主な例に説明しています。Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は、(3)を参照してください。

- 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる自動インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。
- 通知領域(タスクトレイ)に下図のバレーンが表示される
- WL54AG(無線LANカード)をパソコンに取り付ける
ドライバが自動的にインストールされます。
- 通知領域(タスクトレイ)に下図のバレーンが表示される
- CD-ROMを取り出す

Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は[ドライバのインストール]の画面は表示されません。通知領域(タスクトレイ)に[サテライト(無線LAN子機)のドライバがインストールされていません。]というバレーンが表示されたら、子機をパソコンに取り付けてください。ドライバのインストールが自動的に開始されます。インストールが完了するまで操作しないでください。

裏面につづく

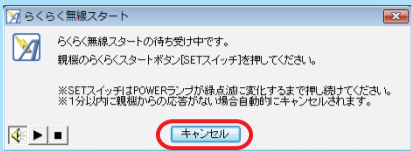
3 親機に接続しよう

ここではWindows Vista®のパソコンにWL54AG(無線LANカード)を接続してご使用になる場合を主な例に説明しています。

親機に接続するための無線設定を行う

親機との無線設定を行います。

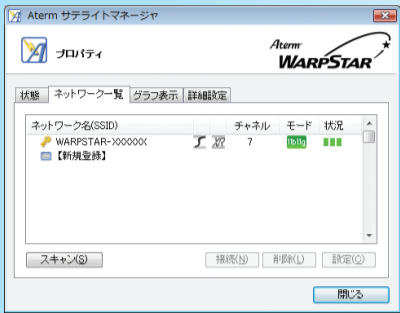
1 次の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックする



※Windows® XP/2000 Professionalの場合は、表示されません。手順2へお進みください。

2 サテライトマネージャを起動し、[ネットワーク一覧]の画面を表示する

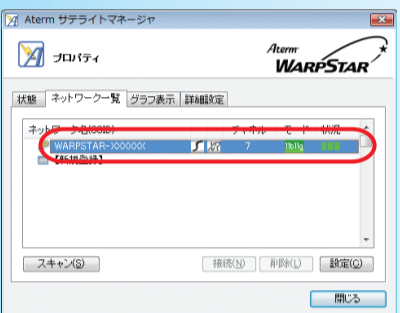
※Windows® XP/2000 Professionalの場合は、自動的に表示されます。(表示されない場合は、③の手順で表示してください。)



サテライトマネージャの表示のしかた

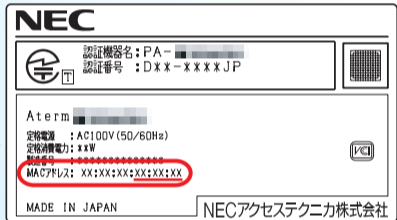
- ① [スタート] (Windows®のロゴボタン) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックしてサテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する
- ③ [ネットワーク一覧] タブをクリックする

3 接続する親機のネットワーク名 (SSID) をクリックする



※複数の親機がある場合は、ネットワーク名 (SSID) も複数表示されます。
 ※親機の無線LAN設定で「ESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽)」が有効になっていると、ネットワークの一覧にネットワーク名 (SSID) が表示されません。
 ※親機のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[新規登録] を選択して [次へ] をクリックし、手順5のIIへ進んで [ネットワーク名 (SSID)] の欄に直接ネットワーク名 (SSID) を入力してください。

工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、「WARPSTAR-XXXXXX」です。(XXXXXXは親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁 (:は除く) です。)



※装置図およびラベルは一例です。

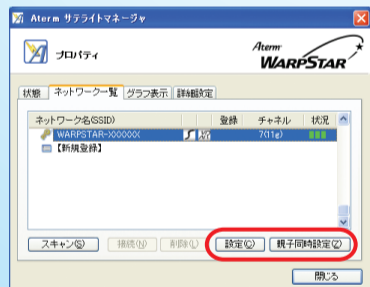
4 [設定] または [親子同時設定] をクリックする

[Windows Vista®/Windows® 7の場合] [設定] をクリックして、子機のみ設定してください。

[Windows® XP/2000 Professional/Meの場合] 親機も同時に設定する場合は [親子同時設定] を、子機のみ設定する場合は [設定] をクリックしてください。



(画面はWindows Vista®の例です。)



(画面はWindows® XPの例です。)

→はじめて無線LANをご利用になる場合は、[親子同時設定] をクリックしてください。
 →2台目以降の子機の増設など、親機の無線設定を変更しない場合は、[設定] をクリックしてください。

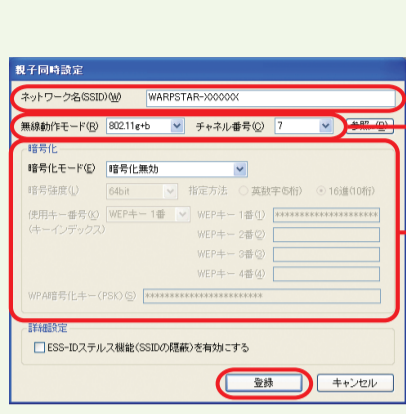
手順5へ進む

5 親機の設定に合わせて無線LANの設定を行い、[登録] をクリックする

- 手順4で [親子同時設定] をクリックした場合 → I で設定します。
- 手順4で [設定] をクリックした場合 → II で設定します。

I 親機も同時に設定する場合

手順4で [親子同時設定] をクリックした場合の設定です。(→はじめて無線LANを利用される場合など)



- ① [ネットワーク名 (SSID)] を入力します。
使用するネットワークの名称を入力します。手順3で使用したネットワーク名 (SSID) を選択した場合はそのまましておきます。
- ② [無線動作モード] を選択します。
ネットワーク内で使用する無線モードを [802.11g+b] [802.11g] [802.11a] から選択します。はじめて無線LANを利用される場合は、[802.11g+b] をご利用ください。(推奨)
- ③ [チャンネル番号] を選択します。
親機がネットワーク内で使用するチャンネルを選択します。
- ④ [暗号化] を設定します。
[暗号化モード] で暗号化の方法を選択して、それぞれの項目を設定します。

■ [暗号化モード] / [WPA-PSK (AES)] (推奨)
 ※ [暗号化モード] のプルダウンメニューに [WPA-PSK (TKIP)]・[WPA-PSK (AES)] がいない場合は、[WEP] を選択してください。

■ [暗号化キー] / 8~63桁の英数字または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に「無線LAN設定ラベル」がある場合、[暗号化モード] で [WPA-PSK (AES)] を選択すると、暗号化キーの欄にキーが自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

・8~63桁の場合：英数字(0~9, a~z, A~Z, 下表の記号)

!	%)	-	; ?] {
&	*	.	<	@	^
#	+	/	=	[-
\$	(,	>	\	~

※ [] は、無線LANアクセスポイント(親機)によっては、使用できない場合があります。
 ※ [] (バックslash) はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

・64桁の場合：16進数(0~9, a~f, A~F)

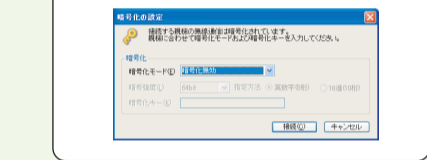
※入力した暗号化キーは忘れないように下記に記入しておくことをお勧めします。

記入欄

<暗号化キーの入力例>
 親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。(容易に読破されやすいキー「11111111」などはお勧めしません。)

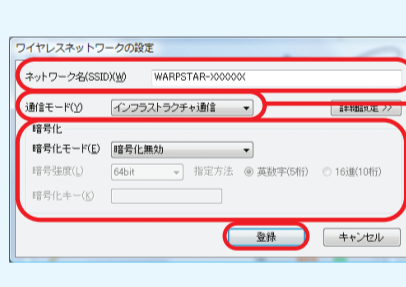
すでに親機が無線設定済みの場合は、下の画面が表示されます。親機に設定してある暗号化モードおよび暗号化キーを入力して [接続] をクリックします。

※入力した暗号化キーが親機と一致していれば、上の画面が表示されますので、設定を行ってください。



II 子機のみ設定する場合

手順4で [設定] をクリックした場合の設定です。(→2台目以降の子機を増設するなど親機の無線設定を変更しない場合)
親機の無線設定に合わせて設定します。
 ※暗号化の設定を行う場合は、必ず親機側を先に設定してください。



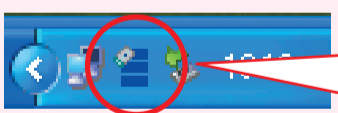
- ① [ネットワーク名 (SSID)] を入力します。
親機の設定に合わせてネットワーク名 (SSID) を入力します。手順3で使用したネットワーク名 (SSID) を選択した場合はそのまましておきます。
- ② [通信モード] を選択します。
インフラストラクチャ通信を選択します。
- ③ [暗号化] を設定します。
親機に設定している同じ内容を入力して設定します。
※入力した暗号化キーは忘れないように下記に記入しておくことをお勧めします。

記入欄

<暗号化キーの入力例>
 親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。(容易に読破されやすいキー「11111111」などはお勧めしません。)

親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャのアイコンで、親機とWL54AG(無線LANカード)の通信状態を確認することができます。



親機との通信が確立できないときには「ご使用になる前に」(別冊)の「トラブルシューティング」を参照してください。

親機との電波の状態は次のとおりです。

青3本	青2本
強い	普通
黄2本	赤1本
弱い	限界

4 インターネットに接続しよう

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

- 1 WWWブラウザ (Internet Explorerなど) を起動する
- 2 アドレスにURLを指定して、外部ホームページを開く
例: http://www.aterm.jp/kddi/54ag/

あとでWL54AG(無線LANカード)を取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。
 ※以下はWindows Vista®の場合の例です。(Windows® 7/XP/2000 Professional/Meの場合は、「ご使用になる前に」(別冊)を参照してください。)

- ① タスクトレイのPCカードアイコンをクリックする
- ② [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapterを安全に取り外します] をクリックする
- ③ [このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。] が表示されたら [OK] をクリックして画面を閉じる
- ④ WL54AG(無線LANカード)を取り外す

無線セキュリティ対策について

無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線セキュリティ対策を行う際は、「ご使用になる前に」(別冊)を参照してください。